

2024年度

社会貢献事業報告書

一般社団法人リトルグリーン

数量報告

当法人は、その年に収穫できた新米の1割以上を使用し社会貢献事業をさせて頂く法人です。2024年の収量は65袋（1袋＝30kg）でした。下の写真は玄米の調整（粳摺り、色彩選別）を終えて、軽トラックにて3回に分けて倉庫に搬入する際に撮影しました。

1回目は22袋、2回目も22袋、3回目は21袋、合計で65袋です。そして、新米発売前の11月11日に1割以上ですと約7袋なのですが、少し多めの8袋、重量としては240kgを社会貢献事業として使用すると決定いたしました。



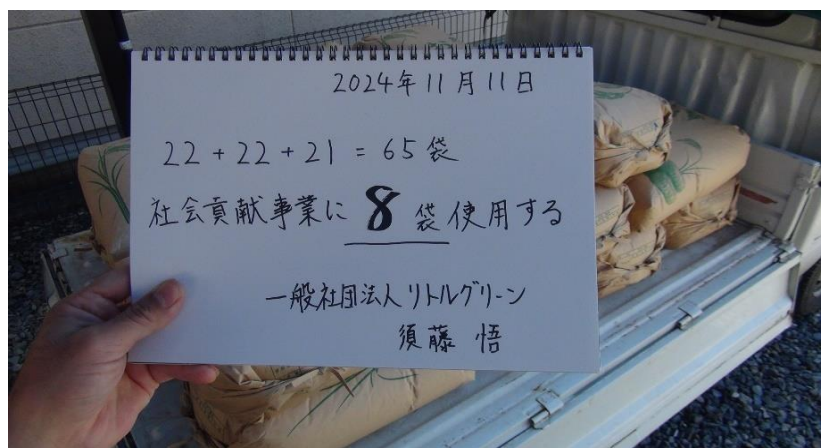
1回目撮影



2回目撮影



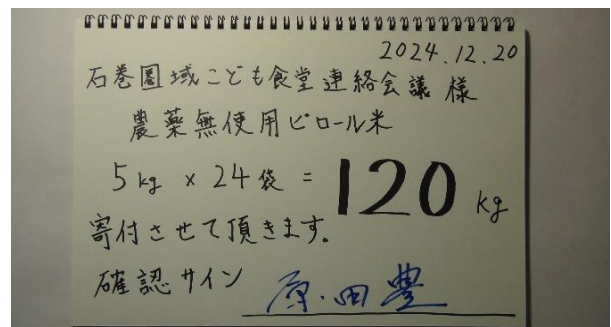
3回目撮影



11月11日、8袋
（8袋×30kg＝240kg）
使用すると決定した。

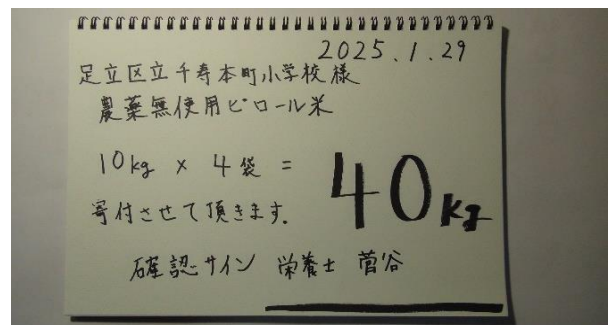
2024年12月20日、一般社団法人BIG UP石巻の原田豊様に新米120kgを受け取っていただきました。こちらの法人は2016年よりコスモス子ども食堂を運営されています。丁度子ども食堂でクリスマス会を開催されて、景品として一部子供達に配布していただきました。写真を送っていただきましたがプライバシーの関係で掲載できません。ご了承ください。残り分は石巻市・東松島市・女川町の2市1町で子ども食堂や子供の食支援に関わっている団体が集まり結成した石巻圏域子ども食堂連絡会議様で子供達に配布していただいております。

念の為ですが、寄付の事実をお米をご購入していただいたお客様にお伝えしたく、荷受けの際に数量などを確認してもらいサインをいただいております。



コスモス子ども食堂倉庫にて

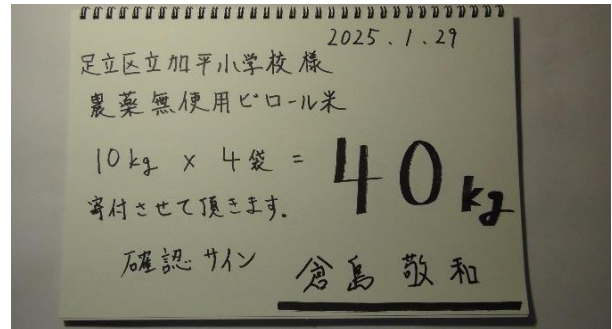
2025年1月19日、足立区教育委員会 学校運営部学務課 おいしい給食担当課様に、「昨年に続き新米120kgを寄付させて下さい。」と申し出たところ、「3校の小学校に各40kgずつ届けて下さい。学校給食で使用します。」とのご用命でしたので、区立千寿本町小学校様、区立加平小学校様、区立伊興小学校様にそれぞれお届けして参りました。



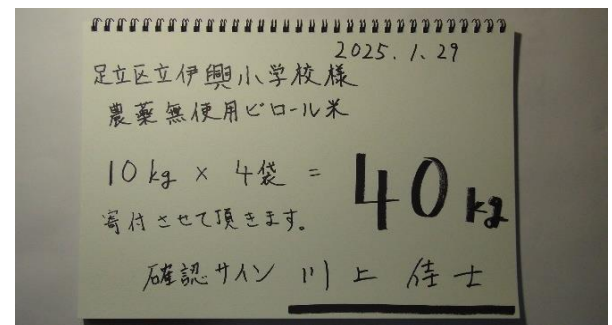
区立千寿本町小学校様にて



区立加平小学校様にて



区立伊興小学校様にて



ご多忙にも関わらず各小学校の校長先生に数量確認していただきサインもいただきました。お米を届ける前に区役所の学務課にご挨拶に伺った際、一言目にお話しされていたことは、最近の食材の仕入価格の上昇が業務の支障になっている、というように仰られてました。普段スーパーで買い物をしている、肉や魚、たまごなど価格が上昇していて1ヶ月の予算に影響がでていますが、一般家庭も含めどこも同じというわけでした。価格高騰の影響で献立の料理が1品減った場合でも、ピロール米は弱アルカリ性で従来のお米より栄養も豊富なので、不足した栄養を補うことが期待できるのではないかと、少しだけアピールしてきました。

ちなみにこの社会貢献事業は、最初に相手の方にお伺いをたてて合意を得てから行っております。ですのでもしかすると断られる可能性もあるかもしれないと思ってます。善意の押し売りといいますか、そういうことはこれからもしません。またこの社会貢献事業の結果、将来はまた活気に満ちた社会になると考えております。

これらのことから当法人が定めた数量目標は達成されました。

一般社団法人リトルグリーンの社会貢献事業が目指すもの

日本における生活の基本的な要件である衣食住の“食”を支える活動を通じて、これから訪れる混乱においても変わらぬ活動を行い続けることにより、人々が次の時代へと移っていくその支えとなること。

当法人の概要

既にご存知かもしれませんが、初めてであればとても信じられないことだと思います。今年起こりうる事の一つ、それは『金融システムが切り替わることによる一時的な混乱が始まる』です。金融システムが大転換する、それは今年の7月を目途に大きな展開が始まる可能性が濃厚であると（株）原田武夫国際戦略情報研究所の代表取締役原田武夫氏が仰られています。（*1）そしてそれはテレビやネットのニュースを確認していればわかるはずです。日本は資産もかなりあるとされてますが普通国債は現在1100兆円を超えていて、その利払いが財政悪化や金利の高騰など何らかの理由で今後厳しいというようなニュースから始まり、国債を保有している者が今すぐお金と交換してほしいなどとゆう行動が原因でパニックが拡大し日本の財政は破綻するのではないかというニュースが報じられるはずです。噂が噂を呼び日本円の価値は紙くず同然と化し、輸入なども停止。それでも人々は生活しなければならないので新たな金融システムが始まるという流れだといわれております。そして新しい金融システムというのは、ブロックチェーンという技術による仮想通貨を使用した決済を行うというものらしく、それに切り替わるまでの間、一時的な混乱が生じるはずです。期間は1ヶ月なのか6ヶ月なのか1年なのかは想像が付きませんが、例えばCOVID-19が発生した当時と比べ現在はその事が当たり前となり落ち着きを取り戻したのと同様に、混乱はいずれ落ち着きます。昨年度までの社会貢献事業報告書で2025年と書いてきたのはこのことに当たります。

当法人がやりたいと考えていることは、その混乱の最中（2025年と想定してますが来年に混乱が起こるかもしれません）でも生きてる限り生活しなくてはならなくお米も必需品だと考えおり、スーパーマーケットの棚に米が並んでいないなど入手が困難な状況だと判断

（*1）下記URLのYouTube動画を参照してください。

タイトル・IISIA年越しライブ2024ー2025「一気に変わる2025年に何を知り、何をすべきか？」

https://www.youtube.com/watch?v=v_68aS-fiS8

した場合には、社会貢献事業での関係、またお客様との関係でお米を無償でお届けしたいと考えております。つまり外的要因で想定外のことが発生したとしても、元の生活に戻すお手伝いをさせていただきたいと考えております。ただし心配なこともありまして、どのような状況になるのか私も本当にわかっていないのですが、イメージしている状況は2011年3月11日です。ガソリン・軽油などの燃料類や電気など調達できるのか、またほぼ一人で活動している為規模はとても小さく、お米しか準備できないと思いますが少しでも皆様に貢献し皆で乗り切ることができればいいのではないかと考えています。

このことは、2019年頃に知り農業の分野での備えも大事なことだと感じ、徐々に準備を整えてきているつもりです。お米を寄付させていただいている石巻圏域こども食堂連絡会議様や足立区おいしい給食担当課様には、この寄付の本当の目的は伏せています。理由としては今は絶対にこの話を信じてもらえないはずだからです。ですが実際に混乱が始まれば子供達への食事の提供を率先して行う社会の組織だと思っています。金融システムが変わる、世の中が混乱するなどとても信じられないと思う方は忘れていただいて構いませんが、当法人は今後も情報に注視し活動を続けていきたいと考えております。

一般社団法人リトルグリーン

代表理事 須藤 悟

2025年 2月記す